

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会

目 次

I	基本理念	1
II	令和3年度基本方針	1
III	令和3年度事業目標	1
IV	概要	2
V	評議員会、理事会の開催状況	8
VI	行事実績(令和3年度)	9
VII	ボランティアの受入状況(令和3年度)	9
VIII	職員配置の状況	10
IX	利用者の状況	10
X	利用者の日課	12
X I	利用者の通院状況	12
X II	苦情解決	13
X III	事業報告の附属明細書	13

I 基本理念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

II 令和3年度基本方針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

III 令和3年度事業目標

1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護。
- ② サービスの質の向上。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。

2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
 - ・利用者に寄り添い、相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
 - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
 - ・職員間の連携を図り、安心・安全な支援を提供する。

3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。
- ③ 感染予防に努める。

4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。
- ④ 情報管理の徹底に努める。

5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)。
- ④ 季節の行事を大事にし、手作りで家庭的な食事を提供する。

IV 概要

令和3年度は、花木庭会の法人運営においては、評議員会は2回開催され、決算報告、事業計画、収支予算及び役員改選など6議案について審議がなされた。

理事会は3回開催され、理事長・業務執行理事の選定、工事等の入札、役員等賠償責任保険の契約及び規程の改正など21議案について審議がなされた。

監事会は5月に定例監査が実施された。また、評議員会、理事会及び11月の鹿島市社会福祉法人指導監査に出席された。

インターネットによる公表は、定款、役員名簿、評議員名簿、役員等報酬規程及び令和2年度決算書を当法人のホームページに掲載するとともに、現況報告書、計算書類等及び事業所情報を社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムに届出し情報公開をしている。

令和3年7月31日をもって創立35周年を迎え、記念誌の発行及び記念式典の開催を行ったが、式典については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため園内にて縮小開催とした。

施設・設備の整備では、利用者の居室等の空調設備の更新を行った。これは平成15年設置の設備で、令和2年度は故障が発生し利用者の生活に迷惑をおかけしたが、7月上旬に竣工し安心して生活していただくことができた。

また、屋根等改修工事では、平成28年度の屋根改修工事では実施しなかった食堂棟の屋根をカバー工法により葺き替え、陸屋根部の防水処理を行った。また、天井やクロスなど内装の一部改修及び補修を行った。

その他、厨房エアコンやコンベクションオープンの更新、感染症対策としてサーモカメラを設置し、空気清浄機10台を増設した。

また、前年度からの継続として、手動ギャジベッド3台を電動ベッドへ更新した。

職員配置の状況としては、年間を通して全体の平均配置数が50.4人（常勤換算48.2人）と前年度に対して平均配置数で3.9人（常勤換算3.0人）の増加となり、生活支援員の平均配置数は29.3人（常勤換算27.5人）で前年度と比較すると、平均配置数は1.9人（常勤換算1.3人）増加した。

年度内の退職者は9人となったが、新たに11人の採用を行うことができ、年度末での職員数は前年度の48人から50人となり、全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

利用者へのよりよいサービスを提供するためには、職員の資質の向上が欠かせないものとなるため、施設内研修を定期的で開催してきた。施設外での研修会のうち、集合研修は県内研修会のみとなり、感染拡大防止のため多くがオンラインでの研修となったが、できる限り参加してきた。

令和3年度に入って新型コロナウイルス感染症を身近に感じるケースが生じた。

8月に職員1人が陽性者となり、入所利用者や職員への感染の不安が高まったため、杵藤保健福祉事務所によるPCR検査を当園で実施したが、全員、陰性であった。

また、1月には入所利用者1人が陽性者となり、杵藤保健福祉事務所によるPCR検査を当園で実施した。この検査結果では全員陰性であったが、その後、数日間をかけて、接触のあった職員等への感染拡大が見られ、職員3人が陽性者となった。全職員で協力し、事業を継続すること

ができ、クラスターまでに至らず収束できたことは良かった。

職員の家族が濃厚接触者となってしまったケース、家族が陽性者となってしまったケース等、家族との関わりによる感染リスクの対応に追われるケースがあった。

通所事業や短期入所については、8~9月にかけて14日間、1月18日から3月4日まで46日間の計60日間の受け入れを中止した。

利用者が楽しみにされている園外訓練、ふれあい旅行や初詣などの外出行事はできなかったが、3月にドライブで桜の花見を車中見学することができ、利用者には大変喜ばれた。

利用者の外出は年間を通して受診等を除き不要不急の外出を禁止とした。また、夏季・冬季帰省についても中止した。

面会は、4月21日から9月30日までと、1月10日から3月6日までの期間を中止とした。

面会ができる時期には、面会者の範囲や人数、面会時間の制限を設け、前日までに予約を受けて感染対策をしながら実施してきた。

ボランティアの受け入れは、利用者との触れ合いはできないため、利用者に関わらない部分での受け入れのみとした。

その他の行事では、施設内で感染者が発生した時期や佐賀県のまん延防止等重点措置期間中の行事は中止したものが多くなった。また、行事を縮小して実施したものもある。

感染対策として、年間を通して、マスクの着用、手洗い、消毒、換気の徹底を行った。職員には出勤前の体温測定を義務付け、手指消毒用アルコールを携帯させるようにした。また、対面する面会室や食堂などにアクリルパーテーションや、手指消毒液を設置し、感染防止に努めた。

新型コロナウイルスワクチン接種については、1回目は令和3年5月から、2回目は6月から、3回目は令和4年1月から実施し、利用者・職員ともに施設での予防接種を希望した人は終了することができた。

1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において、課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。

利用者は、重度化の傾向にあり、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

入所利用者は、年度中に8人に入所してもらうことができたが、退所者が6人と多くなったため、年度末では45人とどまった。

入所待機者については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努めたが、入所待機者の中から入所に繋がったため、年度末での待機者は前年度の17人から13人となった。

2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、佐賀県の南西部地区を中心に計画相談を行ない、障害種別による制限はなく、身体・知的・精神すべてにおいて対応した。

ご本人やご家族のニーズに応じたサービス提供に努め、住み慣れた自宅・地域において安心した生活が送れるように支援した。

杵藤地区自立支援協議会・相談支援部会等の会議に参加してきたが、今年度は感染拡大防止の影響で中止となるケースも多かった。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、令和3年度中に、サービス等利用計画は入所者21件、在宅者30件の合計51件であり、その内、新規での利用計画策定は5

件であった。また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は162件で前年度より15件の増加となった。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

3 生活支援

延べ利用者数は14,928人で前年度の15,783人から大きく855人減少した。

これは、利用者の入院日数が、年間で1,485日となり、年間を通して4人減少と同じ状態と等しくなり、稼働率は78.7%となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上のみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つかれば振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図ってきた。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在5人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を越えた支援を提供していきたい。

4 生活介護（日中のみ）

年間の延べ利用者数は357人で前年度の488人から131人減少し、一日当たりの利用者数の平均は、1.3人となり、定員4人での稼働率は33.2%となった。年度末の実人員は3人で、前年度より3人減少した。いずれも施設入所となったためである。また、感染症対策により60日間休業したことも影響している。

通所利用者の支援においては、入所利用者とはほぼ同じ条件のもとで支援を展開し、ご本人、ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

5 短期入所

年度内の利用者の実人員は4人で合わせて54日の利用であった。感染症対策により60日間に亘り受け入れを中止した。また、利用者自ら感染防止のため利用を見合わせられるなどで、利用者の増加につながらなかった。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

6 機能回復訓練

感染症対策として8月21日から9月30日まで及び1月17日から3月6日までの期間において訓練を中止した。

現状の身体機能、生活能力を維持し日常生活を営むための訓練として、医師及び理学療法士の指示を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、訓練の継続により日常生活がより豊かなものになるよう取り組んでいる。

訓練の実施状況は、職員数が少ないときでもグループを小規模化することや、居室にて行う

事により、訓練が実施できるような環境を確保するように努めた。

今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

7 サークル活動

○手芸サークル

外部講師による押し花を年7回（4・5・6・7・10・11・3月）実施し、9・1・2月は感染症拡大防止のため中止した。また、職員による手芸（8・12月）についても中止した。

各月13人程の利用者が参加されている。

消毒や換気など感染症予防に努めながら、講師や職員の介助を受けながら四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、完成された作品を手に取りとても満足そうにされている様子が伺えた。

作品は手芸サークルの作品として園内での展示や作品展への出展も行っている。

○音楽・カラオケサークル

外部講師による音楽サークルは感染症拡大防止のため中止した月があり、年7回（4・6・7・10・11・12・3月）の実施であった。

四季をテーマとした曲や利用者のリクエストによる曲をピアノで演奏してもらい、参加者全員で歌うことにより歌うことの楽しさを感じられている。15人程の利用者が参加されている。

カラオケサークルは月に2回の活動であるが、8・1月は月1回の実施、9・2月は感染症拡大防止のため中止した。

歌う事が好きな利用者の参加で、通所利用者・短期入所利用者の参加もあり、毎回15人程の利用者が参加されている。

感染症対策として、手指消毒、利用者間の距離をとり、換気、使用物品の消毒に努めながら実施した。好きな歌を歌ったり、他の利用者の歌に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりするなど和やかな雰囲気の中で実施できており、利用者の楽しみ、気分転換にも繋がっている。

○園芸サークル

園芸サークルとしての活動は、天候の影響や業務の都合により年2回の実施にとどまった。

運動広場周辺の花壇は、車椅子での作業ができるように高めになっているため、興味のある利用者が、花や球根の植え込みや除草等余暇時間に取り組み、また支援員も定期的に除草作業や花壇の手入れを一緒に行ったことで、色とりどりの花々が園庭を訪れた人の目を楽しませてくれた。

○生活サークル

感染症拡大防止のため中止した月があり、年9回（4・5・6・7・10・11・12・1・3月）の実施となった。

感染症対策を施しながらゲーム・習字、絵、朗読等を行い、またボッチャを計画し実施した。各月15人程の利用者が参加されている。

新型コロナウイルス感染症の影響により外出や外部との交流が制限されている中で、活動内容を通して利用者間の交流が図られ、また大きな声を出したり、体を動かしたりと楽しんで参加されている様子が伺え、利用者のストレスの軽減につながっていると思われる。

○編集サークル

年4回発行している「はなこぼ新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、ボランティアとの交流の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。

より良い「はなこぼ新聞」になるよう、担当職員や利用者が役割分担しコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

○フラワーアレンジを楽しむ会

元職員3人のボランティアで、年2回実施し、6月13日、11月21日の参加があった。消毒や換気等感染症対策に努めながらフラワーアレンジを実施した。

利用者に花材を自由に選んでもらい、花を入れる位置を確認しながら生け、また講師のアドバイスを受け作品が出来上がっていくことに、利用者もとても満足されていた。

8 苦情相談

苦情は、随時受付により口頭での申し出が4件であった。内容では、支援での不手際、配慮不足など職員に関するものが4件であった。苦情については、概ねその場で回答し、検討が必要なものについては、翌月の利用者懇談会において回答を行った。

今後も苦情について傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、更なる相談サービス提供者としての職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員のメンタル面での支援も必要と思われる。

9 医療

利用者の延入院日数は、1,485日で前年度の740日より倍増した。これは1ヶ月以上の入院者が前年度の8人から16人へと増加したことによるものと考えられる。その内の2人は、内服薬の調整のため8か月を超える長期入院が必要となった。

退所者は6人で、うち4人は医療行為が引き続き必要なため退所となり、2人は死亡による退所となった。

通院は、年間1,026人で前年度より193人増加した。内訳は訪問歯科が403人と一番多く、次いで外科、泌尿器科、皮膚科、内科が続く。通院に多大の時間を要している状況であり、既往歴で再発する病名では、褥瘡、腎臓疾患、皮膚疾患が多くあった。また、精神疾患による通院者は11人を数え、うち1人は医療保護入院中である。

泌尿器科受診者は7人から11人となり、うちバルーン留置者が6人である。高齢化に伴い嚥下機能の低下などもみられるようになり、経管栄養の利用者が2人、喀痰吸引必要者4人と医療行為が必要な利用者が増えている。

食事中的ムセ・咳込みなど嚥下力の低下もみられ、水分トロミ・刻み食・ミキサー食の提供者も増加し食事介助者も増加傾向であり、誤嚥リスクが高い利用者が増えているためその都度嚥下検査を行い対応している状況で今後も増加傾向にあると思われる。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症予防対策期間として取り組み、手洗い・消毒・換気・加湿を行い、利用者は外出時や受診時、職員は勤務時にマスクの着用を行っている。

障害の重度化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早く、また、本人の訴えも乏しいこともあり、日頃の様子との比較や、健康チェックを行うことで、速やかに対応した。

協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院、嬉野温泉病院、市内の眼科へお願いすることが多いが、病院では、コミュニケーションがとりにくく、また、介護の度合いで入院できず通院治療となるケースも見受けられた。

11月には利用者、職員ともにインフルエンザ予防接種を行い、インフルエンザの罹患者は発生せずに済んだ。

今後も、嘱託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていきたい。

10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、医療・生活支援・給食が連携して一人ひとりに応じた食事形態で提供し、栄養ケアマネジメントを策定し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態では、主食は、普通・二炊き・二炊きミキサー・全粥・全粥ミキサー食の5段階とし、副食の切り方は、普通・小刻み・ミキサー食に分けて提供した。刻み食で誤嚥リスクがある方には、主食以外をあんかけで提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食に取り組み、利用者一人ひとりの身体状況に合った食事内容で提供した。

食事提供数は、全利用者合わせて、年間 44,962 食で、毎食の平均では 41.1 食となった。

嗜好調査や給食座談会を毎年行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで、満足度を上げ、食事摂取量向上につなげ、体力維持・機能低下防止に努めてきた。また、限られた予算内で季節の物や手作りデザートを提供し、利用者からも好評を得ている。コロナ禍で外出できない利用者にも、楽しんで食べてもらえるように、食堂の飾り付けを季節ごとに行っている。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1年間を通じて「食中毒防止」、「ウイルスの感染予防」に努めることで、衛生管理の目標を達成し、安全・安心に食事摂取をしてもらうことができた。

11 防災

今年度は、感染拡大防止のために8月、9月、1月、2月の計4回を中止し、年間8回の実施となった。

防災訓練は、火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難誘導を職員が確実に実施できるよう繰り返し行っている。特に夜間は勤務する職員が3人となるため、職員間の連携が求められるので、より速やかで安全な避難誘導が実施できるよう、訓練を重ねてきた。年間で、夜間を想定しての訓練を7回実施し、1回は昼間を想定しての訓練を行った。

例年行ってきた鹿島消防署等と共同訓練である総合防災訓練については感染拡大防止の観点から行わず、通常訓練を実施した。

全職員を対象とした夜間の招集訓練は9月に実施した。電話連絡網及び一斉メールにて伝達し、訓練開始後20分以内に半数以上にあたる31人が登園した。招集訓練を行うことで、施設の非常時には駆けつけるといった意識づけにも繋がっている。

利用者の方も加齢等による身体機能の低下がみられ、重度化が進んでいる。皆、避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方である。また、入所者の入れ替わりもあり、それぞれの利用者に応じた誘導方法を検討する部分が出てきている。

今年度実施した防災訓練での避難誘導時間は、平均で12分42秒だった。

怪我や事故等が無いように安全で確実な避難誘導ができるよう、今後も引き続き訓練を行っていく。

V 評議員会、理事会の開催状況

<評議員会>

第 1 回

開催日	令和3年6月18日
議案	令和2年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について 役員の任期満了による改選について

第 2 回

開催日	令和4年3月25日
議案	令和3年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和3年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和4年度事業計画書(案)の承認について 令和4年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第 1 回

開催日	令和3年5月27日
議案	令和2年度事業報告書(案)の承認について 令和2年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 役員の任期満了による改選に係る役員候補者(案)の承認について 評議員の任期満了による改選に係る評議員候補者(案)の承認について 評議員選任・解任委員の任期満了による改選について 鹿島療育園空調改修工事に係る入札(案)の承認について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第 2 回

開催日	令和3年6月18日
議案	理事長の選定について 業務執行理事の選定について 第三者委員の選任(案)の承認について 鹿島療育園屋根等改修工事に係る入札(案)の承認について

第 3 回

開催日	令和4年3月17日
議案	令和3年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和3年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 役員等賠償責任保険の契約(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 給与規程の改正(案)の承認について 臨時職員等就業規則の改正(案)の承認について 令和4年度事業計画書(案)の承認について 令和4年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る入札(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

VI 行事实績（令和3年度）

月 日	行 事 名	摘 要
4月 17日	家族会役員会	事業報告、計画等
4月 28日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 14日	家族会総会	書面審議（事業報告・計画等）
5月 26日	ランチパーティ	セレクトメニュー
6月 23日	安全祈願祭	安全祈願
10月 4日 ~ 10月 12日	利用者健康診断	尿検査
10月 6日	ボッチャ大会	障害者スポーツの体験
10月 13日	健康教室	病気に対する知識向上のため
10月 27日	不在者投票	衆議院議員総選挙
10月 27日	秋祭り	花火の動画映像鑑賞、お楽しみ抽選会
11月 10日	追悼会	物故者の供養
12月 8日	創立35周年記念式典	映像で観る過去の行事等
12月 8日	忘年会	会食、カラオケ等
12月 11日 ~ 12月 19日	第21回佐賀県障がい者文化芸術作品展	作品 11点出展
12月 24日	クリスマス会	会食の提供
1月 19日	不在者投票	嬉野市長及び嬉野市議会議員選挙
3月 23日	ドライブ	車中での桜の花見
3月 30日	ドライブ	車中での桜の花見

VII ボランティアの受入状況（令和3年度）

月 日	団 体 名	摘 要
随時（年7回）	押し花	押花の作製支援
随時（年3回）	鹿島市婦人ボランティア五五会	花紙作製、車椅子清掃
6月 13日 . 11月 14日	フラワーアレンジを楽しむ会	フラワーアレンジメント
6月 10日 . 9月 29日	職員のボランティア活動	地域の清掃（除草作業・ゴミ拾い）

Ⅷ 職員配置の状況

区分		施設長	事務長	生活相談員	看護師	生活支援員	事務員	栄養士	調理員	合計
令和2年度末職員数		1人	1人	3人	4人	28人	3人	3人	5人	48人
うち、臨時職員					(1人)	(7人)			(1人)	(9人)
期中	増加数	0人	0人	0人	3人	7人	0人	0人	1人	11人
	うち、臨時職員					(5人)				(5人)
	減少数	0人	0人	0人	3人	5人	0人	0人	1人	9人
	うち、臨時職員					(3人)				(3人)
令和3年度末職員数		1人	1人	3人	4人	30人	3人	3人	5人	50人
うち、臨時職員					(1人)	(9人)			(1人)	(11人)

Ⅷ 利用者の状況

【入所者】

(1) 出身地別利用状況(令和3年度)

区分	佐賀市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	玄海町	有田町	大町	江北町	白石町	太良町	大村市	波佐見町	合計
男	4人	0人	5人	7人 ①	1人	5人	1人	1人	1人	0人 ①	1人	1人	1人	0人	28人 ②
女	0人	1人	2人	5人 ①	0人	4人 ②	0人	1人	0人	1人	2人	1人	0人	0人 ①	17人 ④
計	4人	1人	7人	12人 ②	1人	9人 ②	1人	2人	1人	1人 ①	3人	2人	1人	0人 ①	45人 ⑥

※○印は退園者数

(2) 月別在園者の状況(令和3年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		43人	43人	44人	43人	45人	45人	46人	46人	46人	46人	45人	44人	
入園者数		1人	2人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	8人
退園者数		1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	6人
月末利用者数		43人	44人	43人	45人	45人	46人	46人	46人	46人	45人	44人	45人	

(3) 年齢構成表

令和4年3月31日現在

区分	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	合計	最小	最高	平均
男	0人	0人	0人	2人	5人	13人	6人	2人	28人	47才	82才	64.6才
女	0人	0人	0人	0人	5人	8人	2人	2人	17人	51才	90才	65.8才
計	0人	0人	0人	2人	10人	21人	8人	4人	45人			65.0才

(4) 在所期間の状況

性別	期間	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計	1人当り 平均 在所期間
	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満			
男	4人	0人	2人	3人	6人	13人	28人	16年 7月
女	3人	1人	0人	5人	2人	6人	17人	13年 5月
計	7人	1人	2人	8人	8人	19人	45人	15年 5月

(5) 障害原因別

障害原因	事 故				疾 病			合計 ① + ②
	交 通 事 故	労 働 災 害	そ の 他 の 事 故	小 計 ①	先 天 性 の 疾 病	後 天 性 の 疾 病	小 計 ②	
男	3	1	4	8	11	9	20	28
女	0	0	0	0	15	2	17	17
計	3	1	4	8	26	11	37	45

(6) 病症類別

属性	疾病・ 原疾患	主たる病症類・原疾患										前 年 度 合 計	
		脳 性 マ ヒ	脊 髄 損 傷	頸 髄 損 傷	胸 腰 髄 損 傷	小 計	脊 髄 マ ヒ	脳 血 管 障 害 後 遺 症	頭 部 外 傷 後 遺 症	リ ウ マ チ	そ の 他 の 難 病		そ の 他 の 疾 病
性別	男性	9	4	1	5	0	4	2	0	2	6	28	26
	女性	11	0	0	0	0	1	0	0	0	5	17	17
	合計	20	4	1	5	0	5	2	0	2	11	45	43
障害支援区分	区分6	16	4	1	5	0	4	1	0	0	5	31	33
	区分5	2	0	0	0	0	1	1	0	2	4	10	8
	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
	区分3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	20	4	1	5	0	5	2	0	2	11	45	43

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区分	鹿島市	白石町
男	1人	1人
女	1人	0人
計	2人	1人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区分	鹿島市	白石町	大町町
男	1人	1人	1人
女	1人	0人	1人
計	2人	1人	2人

X 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食
	健康チェック
	整理整頓
	ラジオ体操
9:00	入浴
	機能回復訓練
	サークル活動
	行事
12:00	昼食
14:00	入浴
	自由時間
17:00	夕食
	自由時間
	娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

X I 利用者の通院状況

	内 科	外 科	精 神 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	訪 問 歯 科	皮 膚 科※	婦 人 科	泌 尿 器 科	そ の 他	計
4月	11人	17人	5人	1人	2人	0人	28人	18人	0人	7人	0人	89人
5月	7人	11人	4人	3人	1人	0人	31人	5人	0人	11人	0人	73人
6月	14人	13人	3人	3人	2人	1人	43人	11人	0人	16人	0人	106人
7月	4人	14人	3人	3人	0人	0人	50人	10人	0人	10人	0人	94人
8月	8人	11人	3人	4人	0人	0人	32人	7人	0人	13人	0人	78人
9月	10人	11人	3人	3人	0人	0人	34人	8人	1人	11人	0人	81人
10月	5人	14人	2人	5人	1人	0人	31人	14人	0人	18人	0人	90人
11月	6人	13人	4人	2人	1人	0人	31人	10人	0人	8人	0人	75人
12月	15人	12人	2人	2人	3人	0人	27人	17人	0人	12人	0人	90人
1月	13人	7人	3人	3人	1人	0人	22人	12人	0人	10人	1人	72人
2月	16人	10人	4人	2人	2人	0人	33人	5人	0人	9人	1人	82人
3月	14人	13人	5人	2人	1人	0人	41人	10人	0人	9人	1人	96人
計	123人	146人	41人	33人	14人	1人	403人	127人	1人	134人	3人	1,026人

※ 皮膚科はオンライン受診者59人を含む

前年度実績

計	112人	123人	35人	25人	5人	7人	344人	54人	1人	126人	1人	833人
---	------	------	-----	-----	----	----	------	-----	----	------	----	------

XII 苦情解決

苦情受付件数

	職員に 関すること	利用者 に 関すること	施設に 関 すること	その 他	計
3年 4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	1	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0
4年 1月	1	0	0	0	1
2月	1	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
計	4	0	0	0	4

前年度件数

計	4	1	1	0	6
---	---	---	---	---	---

XIII 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。